

## 安全で安心な県づくり推進会議（第5回目）記録（要旨）

●日 時：平成29年2月16日（木）午前10時～11時05分

●場 所：北庁舎2階 危機管理センター小会議室

●出席者：別紙委員名簿（出席者一覧）のとおり

●概要：以下のとおり

※本文中の「条例」は福島県安全で安心な県づくりの推進に関する条例のことを、「基本計画」は福島県安全で安心な県づくりの推進に関する基本計画のことを言う。

### ○議題（1）第4回推進会議における意見と対応等

（2）安全で安心な県づくりの推進に関する基本計画の改定案に対する意見  
（パブリックコメント及び市町村からの意見）と対応等

（3）安全で安心な県づくりの推進に関する基本計画の最終改定案について  
→事務局から資料1、2、3のとおり説明  
→各委員から事務局の説明に対する意見及びこれまでの本推進会議における感想、  
今後、県の取組に期待すること等

#### 【熊田真市委員】

- ・この推進会議が、条例を改めて再認識する機会となった。
- ・（前回の会議でも発言したが、）犯罪被害者支援については、福島県ではこの条例の21条で定めているだけであるので、最終的には県民の目線で、県民が等しく確実に支援を受けられるよう、計画倒れにならないようにしてほしい。

#### 【熊田芳江委員】

- ・「安全・安心」というと、はじめは災害対応だけだと思っていたが、生活全般に対して、様々な視点で安全・安心を作っていくということの大切さを改めて実感した。
- ・県民全体がもっと自分のこととして認識することが重要であり、自分で自発的な行動に移らないと本当の意味での安全ということが保障されないと思うので、この基本計画や取組を分かりやすく伝えていってほしいと思う。

#### 【宍戸委員】

- ・立派な計画ができあがったと思うが、今後この計画をどうやって県民に読んでいただき、実行してもらうかが一番重要である。

#### 【田崎委員】

- ・この計画を策定したときも推進会議の委員だったが、前回との違いがよく分かる。東日本大震災や原発事故を経験したことにより、行政も県民も大事な部分をより自分のこととして捉えることができるような計画になったと思う。視点もこれまでよりも一般県民の目線に近くなっている。

・実施するにあたっては、縦の繋がりだけでなく、地域内の横の繋がりも重要になってくると思う。

#### 【藁谷委員】

・この推進会議に参加したことを契機に消防協会と話す機会を設けることができ、新たな発見があるなど自分自身の勉強にもなった。

・今回、「協働」という文言が入ったことで、ボランティアで活動している人たちがこの計画に賛同し、参画してもらえる姿をこの先描ければと思う。

#### 【渡辺委員】

・セーフコミュニティの観点から意見をさせてもらったため、数字やデータなど細かい指摘ばかりになってしまったが、背景も指標も数値が明確になり、県民にもわかりやすい計画になったと思う。

・郡山市で震災以降実施している市民アンケートで、「避難場所やそこまでの経路を確認しているか」という問いに対して、「確認している」と答えた住民は 25%しかいなかった。時間の経過と共に忘れていってしまうと思うので、この計画も2年、3年と経ったときの県民の意識が重要だと思う。

・市町村から、繁華街の客引きについて意見があり、県としては県条例により規制されていること以外は各自治体の条例で規制するとしているが、県の条例で足りれば市町村が個別に条例を作る必要はないし、市町村条例で市の職員が規制するには限界がある。

#### 【横田委員】

・福島県の「安全」と一つ取り上げただけでもこれだけたくさんの項目になるのだと、改めて感じた。

・震災があったからこそ世界で一番意識の高い県でなくてはならない。これから施策を進めていくことで、そのようになることを期待しているし、県民一人一人が向き合っていかなければならないと改めて感じた。

#### 【吉岡会長】

・前回の基本計画に比べてよい計画ができた。

・より見やすく、分かりやすいものにと指摘をいただいたことを意識し、ずいぶん見やすくなったと感じている。

・この計画自体が県民に認知されていないと思うので、概要版としてリーフレットを作成、配付したり、キャッチコピー（現計画では～安心を みんなでつくろう うつくしま～であるが）を付けたり、この計画を多くの県民の方に知ってもらう方法を考えてほしい。

#### ○事務局から

・昨年3月から5回にわたって、基本計画についてご検討いただき御礼申し上げます。

・基本計画の県民への周知と施策の推進をしっかりと行っていく。

・次年度以降は、計画の進行管理について引き続きご指導いただきたい。

以上